

えんちょう先生の わくわくだより

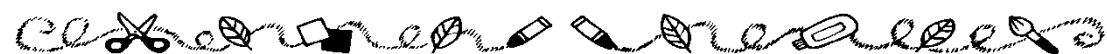
NO. 17 H28. 9. 8

先日、8月27日（土）には、いつも土曜保育に来ている方にご協力を頂き、園の職員全員で、学習会を行いました。今、凶悪な事件の低年齢化、又、人との付き合い方での困難さ、自分に自信のない子ども達が増えているという社会情勢の中で、今、私達が目指していかなければいけない保育、教育って何だろう？という事から資料を基に勉強を始めました。子ども達が落ち着いて過ごし、自由に自分を表現できる環境の中でこそ意欲や主体性は引き出されます。子供同士がもっともっと関わっていける方法はないだろうか？の問い掛けに若い先生も、ベテランの先生もどんどん意見が出されました。そんな中で、

1. 子ども達が自然にかかわっていきける砂や泥んこをつかった砂場の遊びを充実して行こう。今の砂場では、遊びが広がらないのではないかな？その為の環境作りとして、周りに子ども達が集まってくるようなごっこ遊びのテーブルを作ったり、生活感のある台所用品を持ち寄って遊ばせたら子供同士の繋がりが深まっていくのではないだろうか。（不要なキッチン用具があったら頂けますか？）
2. 外での遊びを考え直す（水曜日は、砂場でのおもちゃを出さずに、体を使った遊びに誘う）楽しんで、自分から体を動かしていく遊びをふやそうと、サッカーゴールでサッカーが出来る様にしたり、又 棒とび、まりつき、バトミントン、輪回しなどを、今までの遊びにプラスして体を動かし「出来る！」を、体験し、達成感を味わう経験を増やしていきたい。

などの事を決めました。早速、板を買って来て、先生達が、二つのテーブルを作り赤と白のペンキを塗ると、子ども達は、大喜び。先生達が家から持ってきてくれた、鍋やみそこし、フライパン、スプーン、お椀やフライ返し、しゃもじや、やかんで、楽しいクッキングの時間となり、先生が、「ほら、野菜だよ」と取ってくれる草は、「これは、モロヘイヤだよ」なんて言いながら「カレーが出来たよ」「スープおいしいよ」と遊びがどんどん広がります。時には「〇〇ちゃん、どうしていっぱい水を入れるの？ちょっとって言ったのに〜」「ごめんね、このくらい？」など、年長さんと年少さんのやり取りも聞こえてきました。テーブルの周りには、大きい子や小さい子が一緒に集まり、思い思いの言葉のやり取りをしながら、楽しそうな時間が流れます。こんな遊びの中で、ぶつかり合いながら、自分の気持ちを通したり、ちょっと我慢をしたり、友達の気持ちを受け入れたり、受け入れられずに喧嘩になったり・・・

そんな中で、「ともだちとじぶん」。相田みつを曰く、「おたがいになあ 不完全、欠点だらけのにんげんですがね」を知ってほしいと思います。



年長のT君が、秋の七草のついた園長先生のお便りをくしゃくしゃになるほど持ちまわして、あちこちで、七草を集めてきてくれたそうです。
みんなでもう一回、七草を見てよかったね。



年少さんが育てたポップコーンがどっさり収穫できました。
「何回もポップコーンが食べれるね」と話しかける先生に嬉しそうな年少組の子ども達でした。



これ、
スープだよ



よくまぜま
しょ

ちょっとかしてよ！

小さい年少さんも、なかなか
言います。お姉さん達
は、譲って見守ってくれて
いました



園庭は、二つのテーブルと砂場の
間が大入り満員でした。



みんなが、ままごと遊びを
しんでいる内、リレーごっこ
やブランコ、フラフラ遊びを
楽しむ子ども達もいました。遊
び場が沢山あると、あちこち
に分かれて、自分の好きな遊
びがじっくり出来るね。



2歳のうさぎ組さんは、廊下で粘土遊び、
先生にカタツムリや
クワガタを作って貰
ったね。粘土を丸めたり、
切ったりが楽しそう！



押入で、みんな一つずつ
ボールを持って、ご機嫌な
いちご、ひよこ組のこども
達です。